



〈和泉短期大学の学生を支える6つのサポートセンター〉

CONTENTS

2018年度 聖句

「わたしがあなたがたを愛したように、
あなたがたも互いに愛し合いなさい。」

(ヨハネによる福音書第13章34節)



学校法人和泉短期大学2019年度事業計画……………	2
イタリア「レージョ・エミリア幼児教育研修2018」報告 ……	3
2018年度和泉プレカレッジ開催 ……………	5



2019年度事業計画

理事長 深町 正信



日本の短期大学は、この50年間、戦後の新制大学に移行する条件を満たせない専門学校などのために「暫定的制度」として誕生しました。そして1964年に恒久的な制度と位置づけられました。わが国に於いて短期大学生が最も多かったのは、統計によれば、1993年度の約53万人でありました。短期大学数は、1996年度に最も多い598校になりました。

その教育の中身としては、「教養と実学バランス」がよくとれているということにありました。戦後、短期大学は益々解放された女子の進学率を支える重要な高等教育機関として注目され、志願者が伸びていき、その結果として、日本に於ける戦後の女性の社会進出を底支えしてきました。とりわけ、幼児教育、栄養、福祉、銀行、航空会社などの分野における女性の社会進出に果たした役割はとても大きく、それが戦後の日本に於ける高度産業社会を支える大きな基盤の整備にもなりました。更に、準学士の称号が授与されるようになり、「卒業式」から「学位（準学士）授与式」に変わりました。

広がるにつれて、短期大学への進学が減少し、むしろ4年制大学への進学率が急上昇したからでありました。企業側もバブル崩壊を受けて、短期大学の卒業生が中心であった一般事務職の採用を削り、4年制大学の卒業生を重視するようになりました。その結果として、2017年度の短期大学の数はピーク時よりも約4割強も減少して、339校となり、学生数は、7割強も急激に減って、12万4千人となりました。

しかし、地域に密着した教育研究機関として根付いたり、例えば、わが和泉短期大学のように保育士、幼稚園教諭2種免許状、介護福祉士等の資格取得が充実している短期大学は、多少の志願者の減少があっても、2年間で資格・免許が取得できるので、和泉短期大学への受験者が200名は集まって来ているのであります。

ここに、まさに和泉短期大学の「レゾナードール」(存在理由、存在価値、使命)があると思うのです。従って2019年度も和泉短期大学は「地域密着型」と「実力養成型」の短期大学として、神奈川県、特に、相模原市を中心として将来、よき保育者、実力のある介護福祉士として、幼稚園、保育園、認定こども園、高齢者施設、社会福祉施設で活躍することの出来る専門職の養成を強く願いつつ、教職員、同窓会、関係者一同が和泉短期大学を愛し、支援くださる方々のご協力を頂きながら、地道に本学の使命を果たすために努力をして参りたいと考えています。

この数年、出来るだけ早く和泉短期大学の新しいキャンパスを構築したいという構想を持ってきました。が、昨今の地球変動や不順な気候を

考えますと、また、オリンピックが2020年に日本で開催されるため、多くの新しい施設が造られ、建築費が高騰しているため、当分は新キャンパス建設を慎重にするべきだと考えています。

その上で、2019年度の重点項目と実施計画としては次の7項目を実施したいと考えています。

第一に、世界経済は現在なお不安定要素が強く、不透明であり、決して楽観視することを許されない厳しい状況にあるとの現状認識に立ちつつ、「出るを制して、入るを図る」ところの健全な学校会計を求めていきたいと願っています。従って、資金運用を効率的に行い、決して無茶な資金運用をせず、常に健全な学校経営を念頭に置き、身の丈にあった堅実な学校経営を心掛けていきたいと願います。

第二に、和泉短期大学は地域密着型の保育者、介護福祉士の養成校として、連携圏である社会福祉法人相模和泉福祉会と和泉保育園との関わりを大事にして、両者の関係を実質化して、キリスト教保育連盟との関わりを具体的に実現しつつ、地域に認められるよき保育園としていくために、両者の協力関係を構築していきたいと願います。和泉保育園の理事会、評議員会に和泉短期大学から理事1名と評議員1名を出しています。2019年4月の和泉保育園園長の交代後の運営管理がスムーズに行われるようにするためにも、これまで以上に、側面から熱心に応援し、協力をしていきたいと考えています。

第三に、2017年度「児童福祉研究室」を開設し、2018年11月に「いっしょに子育て」と題する小さな冊子を創刊しました。この冊子

を地域の高等学校、幼稚園、認定こども園、保育園、施設、関係機関を通じてお届けして、現代社会の抱えている様々な子育ての課題に積極的に関わり、これまで以上に地域に寄り添っていくことが出来ればと願います。また、これまでの「子育てひろばはっぴい」、「すまいるい」を通じての地域の方々との様々な支援と交流に一層力をいれていくことが大切であると考えています。

第四に、和泉短期大学は、今までも、また、これからも、資格・免許取得で競合する大学、短期大学、専門学校とも、場合によっては共存し合うという図式も視野に入れながら、今後ともどのように共存していくかを、常に柔軟に考えていく必要があるかと思われれます。その時、和泉短期大学としては学生のニーズに如何にして、的確に対応していくかを自省することが大切であろうかと思われれます。現在は言うまでもなく、ほとんどの短期大学は多様化する受験生の望みに対して、どのように受け止め、支援していくか、また、学生、保護者、社会にとって歓迎される質の高い教育サービスを維持していくかを自らに常に厳しく問い掛けて、備えることも大切であろうかと思われれます。

第五に、和泉短期大学は福祉専門職である介護福祉士の養成機関として専攻科を設置していますから、多くの学生たちが保育士資格とともに、介護福祉士資格を取得して社会に出ていくことの意義を、在学中からもっと強く学生に考えさせ、熱心に指導する必要があるのではないかと考えられます。

第六に、和泉短期大学は建学の精神として「キリスト教信仰に基づく

教育と人格形成」を大事にしてきました。ほとんどの学生にとって、入学式に始まり、卒業式まで、あらゆる大学行事がキリスト教の礼拝形式で行われているため、入学当初は、如何に戸惑うことでもありません。しかも現在、日本では宗教抜きの人間教育がなされているのであります。しかし、和泉短期大学は毎週月曜日に、チャペルで、教職員と学生が、一緒に参加して大学礼拝が行われています。このように聖書の教えにより、神との関係で私達人間にとり、何がもっとも大切であるかを、教える者も教えられる者も共に考えることにより、スクールモットーである「愛と奉仕」の精神を学ぶところに和泉短期大学の特色があると思われれます。従って和泉短期大学としては、もっとキリスト教色を鮮明に掲げて教育と研究に励むことが大切であろうと考えています。

第七に、2018年度は教育環境整備として、ラーニングセンターwii1にノートパソコン33台を増設しました。今後も本学の教育環境整備を充実させるために「教育環境充実資金募金」に一人でも多くの方々の協力を求めて参りたいと願っています。

残念ながら2018年度は私立大学等経常費補助金が大幅に削減されましたので、私達としては「教育環境充実資金募金」への協力を一人でも多くの方々にお願いして、和泉短期大学の教育環境の充実を具体化し、その効果を求めるために努力していきたいと考えています。

「2018年度和泉短期大学 学長裁量研究費採択者の イタリア『レッジョ・エミリア幼児教育研修2018』」報告

専任講師 久保 小枝子

2018年11月2～9日の8日間、世界で最も優れた教育として注目されている北イタリアのレッジョ・エミリア市の保育視察に行く機会を頂きました。以前から、レッジョ・エミリアの保育に興味を持ち、国内で行われている講演会や書籍、DVD等を通して学びを重ねてきましたが、「百聞は一見に如かず」でした。

保育室には、子どもが自分の思いや考えを自由に表現できる環境が整えられ、ゆったりとした時間と空間の中で過ごしていました。園庭には、草花・木・土・水・動物など自然が大切にされ、子どもが自然豊かな環境の中で過ごせるように工夫されていました。

何よりも、保育の営みの中で1人ひとりの子どもが主体となり、保育者・アトリエリスタ(芸術士)・保護者・地域の方々が協働し、共に創り上げていく保育のダイナミックさに驚かされました。

レッジョ・エミリアの保育の中で大切にされている保育理念はたくさんありますが、ここでは保育者のあり方をご紹介します。1つ目は「保育者が探求心と好奇心に溢れた学び手であること」、2つ目は「子どもに聴き、共に学ぶ姿勢が最も大切である」という保育者観です。これから和泉を卒業して保育者になる卒業生、4月から保育の学びを探求していく在学生、そして現在さまざまな保育の現場で活躍している卒業生の方々とこの理念を分かち合うことができたら幸いです。

今後、和泉短期大学で行われている地域の子育て広場「はっぴい」「すまいりい」でも、どの様な環境を提供できるか考えていくと共に、学生・教員・地域の方々と共に「保育」「子育て」を語り合い、聴き合い、学び合うことで繋がり合うコミュニティを創る可能性を探っていきたいと思っています。



〈大石洋次郎非常勤講師 定年退職最終講義〉を開催しました

2018年12月21日(金)に〈大石洋次郎非常勤講師定年退職 最終講義〉を開催し、学生37名、卒業生約40名が受講しました。

- 大石先生の絵描きとしてのお話
- 造形遊びについてのお話
- 11期生(心班)の物語の上映
- 14期生時代・103教室が無くなる時に送ったメッセージ集の上映
- 花束贈呈

という流れで行われました。

卒業生からは「先生の話聞いて、学生時代にタイムスリップしたみたいでした」という感想もあり、先生のやりきった！という清々しさがとても印象的な最終講義となりました。

大石先生には1991年4月より、「図画工作」「造形表現」「造形遊び」といった科目を28年に渡りご担当いただき、本学の教育の発展に多大なるご貢献を賜りました。

永年のご功績に、教職員一同、心より敬意を表しますとともに、改めてお礼を申し上げます。



卒業生からのコメント

大石先生(最終講義)について

2006年度卒業生 実習サポートセンター 実習助手 池田なつみ

2018年12月21日に最終講義を受講しました。当日は脚の不調により授業自体、行えるか心配な状態だったにもかかわらず、「まだまだ絵を描きたいと思っている！」と力強く話していたことが心に響きました。大石先生は常に人を楽しませることや人に喜んでもらえることを考えていて「面白い物作ろう！」「こうしたらもっと良くなるぞ！」という言葉私達学生へいつも投げかけていました。そして、自分の意見や想いを相手に伝えること、表現する楽しさを大石先生から教えて頂きました。

和泉での講義を終えることになり、とても残念です。今後の大石先生のご健康とご活躍をお祈りいたします。

TOPICS

クリスマスイベント

●2018年度クリスマスツリー点火祭を実施しました

救い主イエス・キリストのご降誕を祝うクリスマス待つ4週間が2018年は12月2日から始まりました。

12月3日(月)の夕刻に、クリスマスツリー点火祭を行いました。

和泉クラーク・ホールで学生と教職員、そして地域の方々に越しいただく中、ベルの音の合図で始まりました。学生チャペル委員が司会を担当し、聖歌隊とハンドベルクワイアの賛美、聖書朗読、祈りが捧げられ、参加者一同で歌う讃美歌がチャペルに響きます。

そして、キャンパス内にあるクリスマスツリーに一斉に灯りがともされました。その瞬間、クリスマス(キリスト+ミサ)—キリストの誕生を祝い、礼拝する一の感動を皆で共有し、その意味を再確認することができました。

お一人おひとりの心に、神様による平和と希望の光がともされますようにお祈りいたします。



●はっぴいクリスマスコンサートを開催しました

2018年12月8日(土)、和泉クラーク・ホール(3号館)において、子育てひろば「はっぴい」と和泉短期大学宗教部共催のクリスマスコンサートを開催しました。

当日は、はっぴい参加親子34家族90名と、入学前教育プログラムのひとつとして来年度入学予定者79名、地域の方、および教職員を含め324名の方にご来場いただきました。

学生による絵本「ちいさなもみのき」の読み聞かせと歌、「ハンドベル」履修学生によるクリスマスソングのハンドベル演奏、本学オルガニスト石井三枝子先生によるパイプオルガン演奏、学生聖歌隊による賛美など盛りだくさんの内容でご来場の皆さまに楽しんでいただくことができました。

コンサート終了後に、参加されたお子様たちには、サンタクロースからプレゼントが贈られました。多くの方のご来場、誠にありがとうございました。



●2018年度クリスマス礼拝を行いました

2018年12月17日(月)和泉クラーク・ホールにおいて、本学学生および教職員とともに、救い主イエス・キリストのご降誕を祝うクリスマス礼拝が行われました。港南希望教会の鈴木義嗣牧師をお招きして「マリアの祈り」と題して説教をしていただきました。また、ハンドベルクワイアと学生聖歌隊により賛美が献げられました。



2019年「教職員 新年礼拝」、「教職員 新年の集い」を行いました

2019年1月7日(月)、「教職員 新年礼拝」と「学校法人和泉短期大学 教職員 新年の集い」を行いました。「新年礼拝」、「新年の集い」には、本学教職員と学内の協力会社の方々に参加いただきました。

読売ジャイアンツ元コーチ篠塚和典さんによる第13回野球教室が開催されました

2019年1月19日(土)本学において、読売ジャイアンツ元コーチ篠塚和典さん、奥様、ご長男、ご長女ご夫妻、独立リーグBC栃木の監督に就任した前読売ジャイアンツ選手寺内さん、女子プロゴルファーの菅沼菜々さんたちの協力のもとで、児童養護施設バット博士記念ホームの子どもたちのために第13回野球教室が開催されました。

学生食堂でカレーライスとポテカラ、ミニケーキを食べた後、体育館でのバスケットボール、球技そして総合グラウンドでは野球を楽しみました。篠塚さんはいつもバットホームの子どもたちのために夢と希望を与えてくださっています。



篠塚和典さんから本法人に対して、指定寄付金をいただきました

野球教室開催前に、篠塚和典さん(スマイリングパートナーズシップ代表)から本法人の「教育環境充実資金」に対して指定寄付金をいただき、土橋事務局長が受け取りました。みなさまの心のこもった貴重な寄付金を本学の教育環境整備のために使用させていただきます。

2018年度 和泉プレカレッジを開催しました

2019年2月2日(土)相模原市内、町田市内の保育者を
目指す高校1・2年生を対象とした公開授業「和泉プレカレ
ジ」を開催しました。55名の生徒さんに参加して頂きました。

「ハンドベルについて 天使の響ハンドベルを奏でよう」

(非常勤講師 千葉 仁)

「運動が脳と心から良い関係にする!」

(非常勤講師 中山恭一)

授業後は、学生食堂でランチをした後、修了証を交付しま
した。



2019年度 入学前教育

大島 美結さん

(神奈川県立上溝南高等学校)

入学前教育を受講し、入
学後の授業がより楽しみに
なりました。



4つの授業を受け、私は
その中で特に「リトミック」
が印象に残りました。私は、

「リトミック」が具体的にどのようなものか知り
ませんでした。実際に体を動かして体験する
ことで理解が深まりました。体験したものの中
には、静かに耳を傾けていないとできないもの
や、周りと協力しなければならぬものがあり、
それらがこどもの成長に繋がるのだと思いまし
た。入学後に「リトミック」をもう一度体験して
みたいと思っています。

2年後自信を持って社会に出ていけるよう
に、これからの学校生活でたくさんの方の学
び、自分を成長させていきたいです。

河合 真夏さん

(神奈川県立相模原青陵高等学校)



入学前教育を受講して、
私は人一倍努力をしなければ
ならないと実感しました。
入学してから忙しい日々
を送りながら、課題やレ
ポートをこなさなければなら
ない、それに私はピアノが苦手なので、その
練習も忘れてはいけないと強く思ったからです。

私は和泉での2年間で今出来る事を得意に、
苦手な事を出来るようにしたいと思っていま
す。そして、自信をもって卒業して、今まで支
えてくれた方々に恩返しが出来るとな人にな
りたいです。

学修奨励奨学金、保育士修学資金、 介護福祉士修学資金

2018年度前期 学修奨励奨学金奨学生一覧

田代 茜 / 村田 茉以 / 越田 春菜
山崎真理子 / 大島 沙希 / 宮川 功輝
越野みのり / 渡邊 果穂

2018年度 保育士修学資金(決定者)

神奈川県
西川 晴菜 / 丸山 笑生 / 武田麻由奈

横浜市

安藤 優花

川崎市

石沢 麻衣 / 鎌田 思美 / 藤棚 杏実

藤田由希菜

東京都

藤井 真緒 / 西川 希望

2018年度 介護福祉士修学資金(決定者)

神奈川県

牧野 広大

東京都

堀江 実花

人事

事務職員

■退職

(2018年11月30日付)

小池 友子 学術情報ユニット(非常勤)

(2018年12月21日付)

青木 裕美 学生支援ユニット(非常勤)

■任用

(2019年1月1日付)

和泉 幸子 教育・学習支援ユニット
ラーニングセンター主任 IT支援者(契約)

次期事務局長の選任(重任)

2018年度 第3回理事会(2019年1月25日(金)開催)

第6代事務局長 土橋 正文(重任)

任期 2019年4月1日～2023年3月31日(4年)

2018年度「教育環境充実資金募金」のお願い

学校法人和泉短期大学は1956年4月東京都世田谷区中町に「バット博士記念養成所」を開設し、同年5月「現任訓練講習会」を開催したことに始まります。1960年、その現任訓練機関が「玉川保母専門学院」となり、1965年に「和泉短期大学」が設立され、2018年5月に学校法人和泉短期大学は創立62年を迎えました。

学校法人和泉短期大学を卒業された卒業生19,027名の方々の働きや努力と活躍により発展成長したものと深く感謝申し上げます。

和泉短期大学は、教育の充実を図り、学修環境整備、施設設備の維持整備を目的に2018年度も「教育環境充実資金募金」を行うことになりました。

皆様には出費多難な折とは存じますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

募金対象事業

震災・災害対策：1号館3階図書館天井耐震補強工事

教育環境整備：ノートパソコン33台増設
(ラーニングセンター will)

寄付者一覧(敬称略) <2018年12月1日～2019年2月18日>

高田 憲子 / 手塚 育代 / 小倉 敏子 / 杉本美恵子 / 戸田 美穂 / 池田 涼子 / スマイルングパートナーズ 代表 篠塚 和典
以上7件 128,000円

募金目標金額 10,000,000円
募金募集期間 2018年6月1日～2019年3月31日
募金金額 1 個人 1口 5,000円
2 法人 1口 10,000円

所得税・住民税の寄付控除

本法人への募金(寄付金)につきましては、年間2,000円を超える金額に対して、確定申告をすることにより所得税及び住民税の寄付控除を受けることができます。

法人募金の場合

法人からの募金(寄付金)につきましては、日本私立学校振興・共済事業団を通じて、「受配者指定寄付金」として全額損金算入することができます。

詳しくは下記までご連絡ください。

募金担当部署

学校法人

和泉短期大学

庶務ユニット(経理担当) 042-754-1133

2018年度 和泉短期大学「愛のいずみ基金奨学金」(給付型奨学金)の創設について

この度、本法人の原点であるララ物資の精神を引き継ぐために本学教職員・法人関係者の方々からの寄付を中心とした本学独自の給付型奨学金基金を設立することになりました。

現在の社会・経済環境が甚だ厳しい状況にありますが本学独自の愛のいずみ奨学金基金の趣旨をご理解のうえ、和泉短期大学の学生の支援充実のため、一人でも多くの方々のご支援、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

募金目標金額 3,000,000円

募金募集期間 2018年11月～2019年3月(第1期)

募金金額 1口5,000円

払込方法 郵便振替口座 口座番号 00280-6-105705

口座名 愛のいずみ基金奨学金

寄付者一覧(敬称略) <2018年12月1日～2019年2月18日>

森 三樹 / 佐藤 守男 / 佐藤 蘭美 / 和泉短期大学後援会 会長 雑賀えり子 / 土橋 正文 / 前島 麻衣 / 曾根真理子 / 中野 陽子 / 今泉 治子 / 横倉 光男 / 下西 潤子 / 平塚 豊 / 山本美貴子

以上13件 285,000円

所得税・住民税の寄付控除

本法人への募金(寄付金)につきましては、年間2,000円を超える金額に対して、確定申告をすることにより所得税及び住民税の寄付控除を受けることができます。

法人募金の場合

法人からの募金(寄付金)につきましては、日本私立学校振興・共済事業団を通じて、「受配者指定寄付金」として全額損金算入することができます。詳しくは下記までご連絡ください。

問合せ先

学校法人

和泉短期大学

庶務ユニット(経理担当) 042-754-1133

公共職業訓練 神奈川県委託訓練「専門人材育成コース」(保育士)設置

2019年度から、神奈川の公共職業訓練 委託訓練「専門人材育成コース」(保育士)の実施期間に選定されました。

受講対象者は、雇用保険受給資格があり、公共職業安定所長の受講指示が得られる方で、国家資格等の取得や専門スキルの修得により、正規就職を希望する方です。

費用等は、入学金、受講料(授業料等)は無料で社会人の学び直しには大変有利な制度です。ただし、教科書・教材費等は受講者負担です。

詳しいことは、web「神奈川県産業技術短期大学 人材育成支援センター」の委託訓練「専門人材育成コース」をご確認ください。

新スクールバスについて

2019年度(2019年4月1日)からスクールバスの運行委託会社を変更し(大新東株式会社)、イラストのとおり、新スクールバス大型(78人乗り)3台、中型(54人乗り)1台を導入します。

学生が相模大野駅、淵野辺駅から快適な通学が出来るように、安全運行に努めて参ります。

